

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【公開番号】特開2019-125733(P2019-125733A)

【公開日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-030

【出願番号】特願2018-6358(P2018-6358)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

B 2 4 B 37/013 (2012.01)

B 2 4 B 37/005 (2012.01)

B 2 4 B 37/34 (2012.01)

B 2 4 B 49/12 (2006.01)

G 0 1 B 11/06 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 21/304 6 2 2 S

H 0 1 L 21/304 6 2 1 D

B 2 4 B 37/013

B 2 4 B 37/005 Z

B 2 4 B 37/34

B 2 4 B 49/12

G 0 1 B 11/06 G

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月13日(2020.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

図11は、第2減光器72の構成の一実施形態を示す模式図である。第2減光器72は第1減光器70と基本的に同じ構成を有しているため、第1減光器70と同じ構成要素には同じ符号を付し、第2減光器72の詳細な説明は省略する。図11に示すように、第2減光器72は、第1投光ファイバー36、すなわち第1枝光ファイバー36Aに取り付けられている。この第2減光器72は、第1投光ファイバー36および第2投光ファイバー37からウェーハWに導かれる光の量をバランスさせるために使用される。より具体的には、第1投光ファイバー36および第2投光ファイバー37からウェーハWに導かれる光の量が同じになるように、第2減光器72は第1投光ファイバー36（すなわち第1枝光ファイバー36A）を伝送される光の量を減少させる。結果として、第1センサヘッド61および第2センサヘッド62は、同一の光学的条件下でウェーハWの膜厚を測定することができる。